

2017年12月期 決算説明会

2018年2月13日
藤田観光株式会社
(証券コード：9722)

本日の説明内容（目次）

【Ⅰ】2017年12月期業績	P1	【Ⅲ】中期経営計画の見直しについて	P11
1.損益計算書	P2	1.修正後の計画数値	P12
2.貸借対照表・キャッシュフロー計算書	P3	2.WHG事業	P13
3.セグメント別売上高	P4	3.リゾート事業	P14
4.セグメント別営業利益	P5	4.ラグジュアリー&バンケット事業	P15
【Ⅱ】セグメント別状況	P6	5.新しい事業への取り組み	P16
1.セグメント別状況(WHG事業)	P7	6.セグメント別計画数値	P17
2.セグメント別状況(リゾート事業)	P8	7.株主還元	P18
3.セグメント別状況 (ラグジュアリー&バンケット事業)	P9	参考資料	P19～20
4.インバウンドの当社状況と施策	P10		

【 I 】 2017年12月期業績

損益計算書

新規施設の通年稼働により前年比増収増益

単位：億円	2017/12	2016/12	前年比	2017/12	予想比
	実績	実績		予想 (8/8発表時点)	
売上高	706.2	687.8	18.3	720.0	▲13.7
営業利益	19.9	17.1	2.8	23.0	▲3.0
減価償却費等負担前営業利益	76.8	72.1	4.5	83.0	▲6.2
経常利益	20.4	16.9	3.4	23.0	▲2.5
親会社株主に帰属する当期純利益	16.7	8.5	8.1	11.0	5.7

■ **特別利益 25.3億円**

(主な内容：固定資産売却益18.1億円、受取補償金3.1億円)

■ **特別損失 14.0億円**

(主な内容：営業終了決定などに伴う固定資産の減損損失13.7億円)

貸借対照表・キャッシュフロー計算書

積極投資により固定資産が増加

単位：億円、%	2017/12	2016/12	前年比
	実績	実績	
総資産	1,073.6	1,058.3	15.2
純資産	276.3	265.2	11.1
有利子負債	466.9	457.5	9.4
自己資本比率	25.5%	24.9%	0.7%
営業キャッシュフロー	55.3	62.4	▲7.0
投資キャッシュフロー	▲66.6	▲60.0	▲6.6
設備投資額（キャッシュベース）	85.8	95.0	▲9.1

■ 投資の資金調達のため、有利子負債増加

（中期経営計画期間中で500億円以下を予定）

■ 箱根小涌園 天悠やホテルグレイスリー京都三条 南館等、積極的な投資を実施

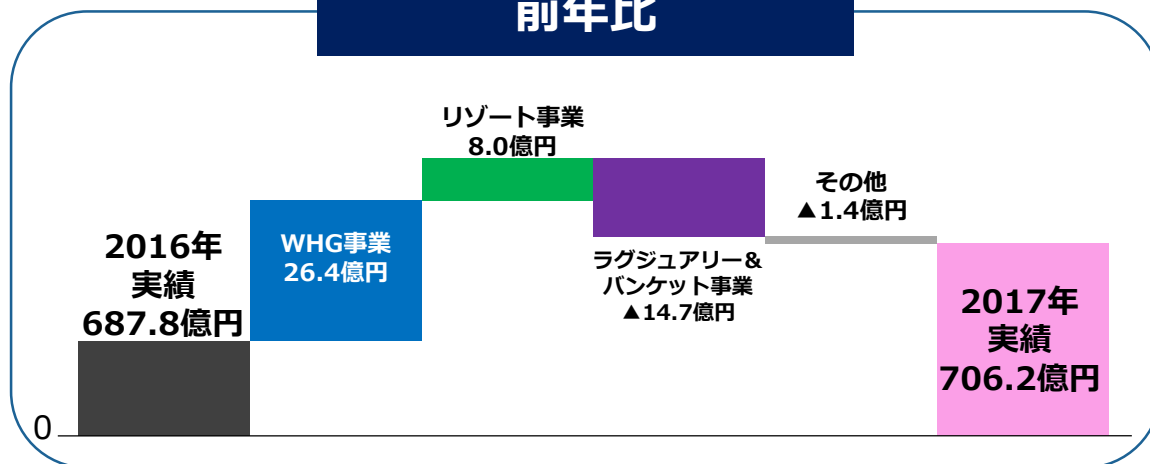
セグメント別売上高

WHG事業の牽引により前年比増収

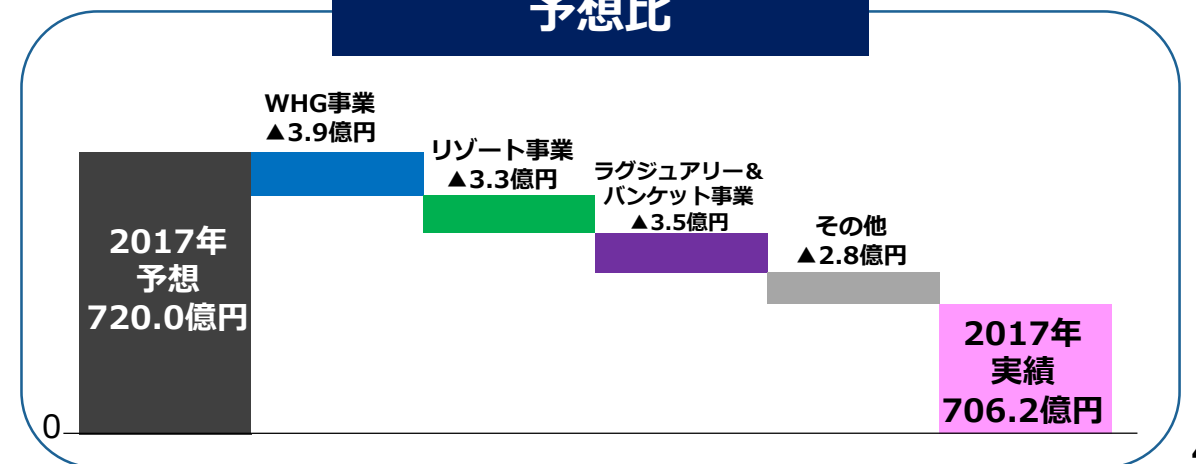
単位：億円

	2017/12 通期実績	2016/12 通期実績	前年比	2017/12 通期予想 (8/8発表時点)	予想比
W H G 事業	356.0	329.5	26.4	360.0	▲3.9
リゾート事業	75.6	67.5	8.0	79.0	▲3.3
ラグジュアリー&バンケット事業	247.4	262.1	▲14.7	251.0	▲3.5
その他および調整額	27.1	28.6	▲1.4	30.0	▲2.8
売上高合計	706.2	687.8	18.3	720.0	▲13.7

前年比



予想比

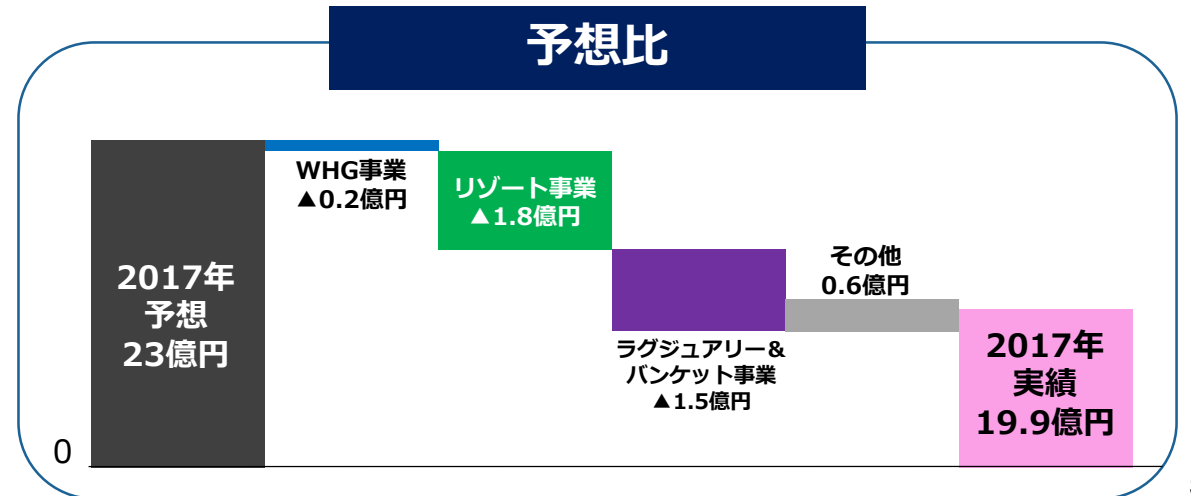
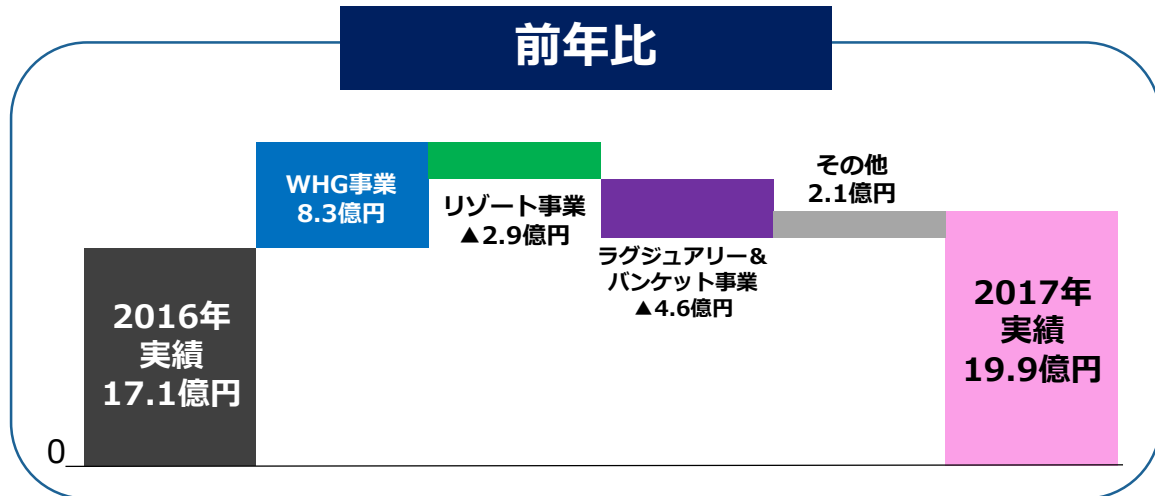


セグメント別営業利益

WHG事業がリゾート事業・L & B事業の減益をカバー

単位：億円

	2017/12 通期実績	2016/12 通期実績	前年比	2017/12 通期予想 (8/8発表時点)	予想比
W H G 事業	28.7	20.4	8.3	29.0	▲ 0.2
リゾー ト 事業	▲ 6.8	▲ 3.9	▲ 2.9	▲ 5.0	▲ 1.8
ラグジュアリー&バンケット事業	4.4	9.1	▲ 4.6	6.0	▲ 1.5
その他 および 調整 額	▲ 6.3	▲ 8.5	2.1	▲ 7.0	0.6
営 業 利 益 合 計	19.9	17.1	2.8	23.0	▲ 3.0



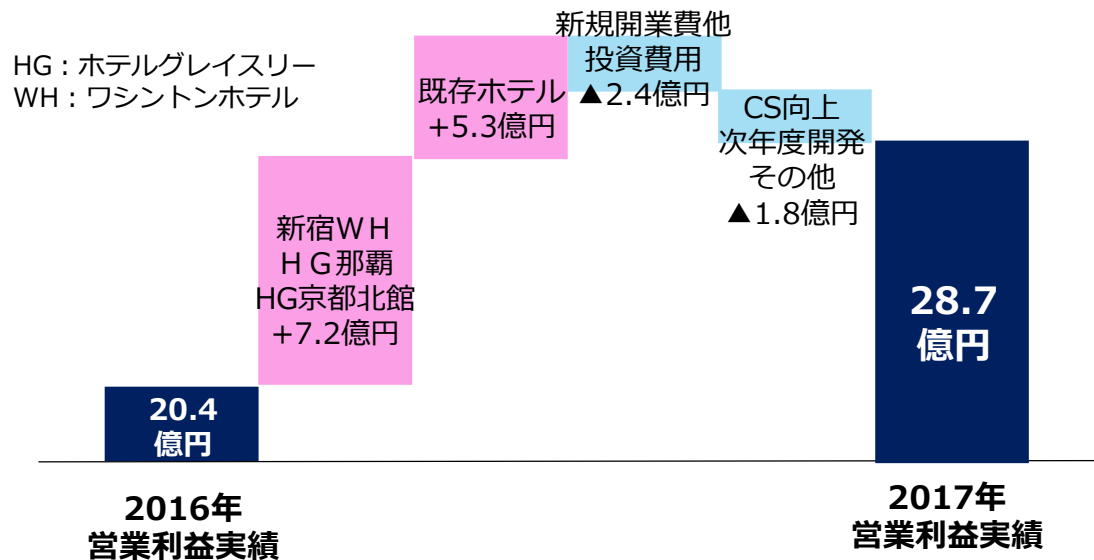
【Ⅱ】セグメント別状況

セグメント別状況（W H G 事業）

新施設の通期稼働、客室単価上昇により対前年増収増益

単位：億円	2017/12	2016/12		2017/12	予想比
	実績	実績	前年比	予想 (8/8発表時点)	
売上高	356.0	329.5	26.4	360.0	▲ 3.9
営業利益	28.7	20.4	8.3	29.0	▲ 0.2

◆ 営業利益 前年比増減要因 ◆



◆ 稼働率・客室単価 前年比増減率 ◆

	首都圏	地方	合計
	前年比	前年比	前年比
稼働率	+1.5%	+0.3%	+1.0%
客室単価	+0.9%	+6.2%	+2.6%

- ホテルグレイスリー京都三条 南館 5月1日開業【128室】
- 木更津ワシントンホテル（F C） 10月28日開業【146室】

セグメント別状況（リゾート事業）

4月新たな旗艦施設「箱根小涌園 天悠」開業

単位：億円	2017/12	2016/12		2017/12	予想比
	実績	実績	前年比	予想 (8/8発表時点)	
売上高	75.6	67.5	8.0	79.0	▲ 3.3
営業利益	▲ 6.8	▲ 3.9	▲ 2.9	▲ 5.0	▲ 1.8

◆2017年度 箱根主要施設実績◆

箱根ホテル小涌園

- 2018年1月10日営業終了 閉館前の需要増で好調

稼働率		客室単価	
前年比	予想比	前年比	予想比
▲1.3%	+4.3%	+2.4%	+10.5%

箱根小涌園ユネッサン

利用人員		入場単価	
前年比	予想比	前年比	予想比
▲4.2%	▲12.4%	▲3.9%	▲3.0%

◆箱根小涌園 天悠◆

- 2017年4月20日 開業
- オペレーション構築を優先するため稼働率を抑制
- 一人当たりの宿泊単価は想定を上回る
- インバウンド比率は約24%、欧米豪の利用者も伸長

稼働率	一人あたり宿泊単価
予想比	予想比
▲17.5%	+5.5%

セグメント別状況（ラグジュアリー＆バンケット事業）

アジュール竹芝の影響を除き売上高は前年並みに推移

単位：億円	2017/12	2016/12	前年比	2017/12	予想比
	実績	実績		予想 (8/8発表時点)	
売上高	247.4	262.1	▲ 14.7	251.0	▲ 3.5
営業利益	4.4	9.1	▲ 4.6	6.0	▲ 1.5

◆部門別売上高◆

(単位：億円)

部門	2017年 実績	前年比 カッコ内はアジュール竹芝を除く前年比
宿泊	22.9	▲2.3 (+1.3)
婚礼	114.4	▲3.9 (+0.3)
宴会	51.7	▲3.9 (▲0.3)
料飲	40.5	▲0.9 (+1.4)
その他	17.7	▲3.6 (▲3.5)
合計	247.4	▲14.7 (▲0.8)

【宿泊部門】

- 独立系ホテルブランドの世界最大ネットワークである「Preferred Hotels & Resorts」に加盟

前年比	稼働率	客室単価
ホテル椿山荘東京	+4.0%	+1.2%

【婚礼・宴会部門】

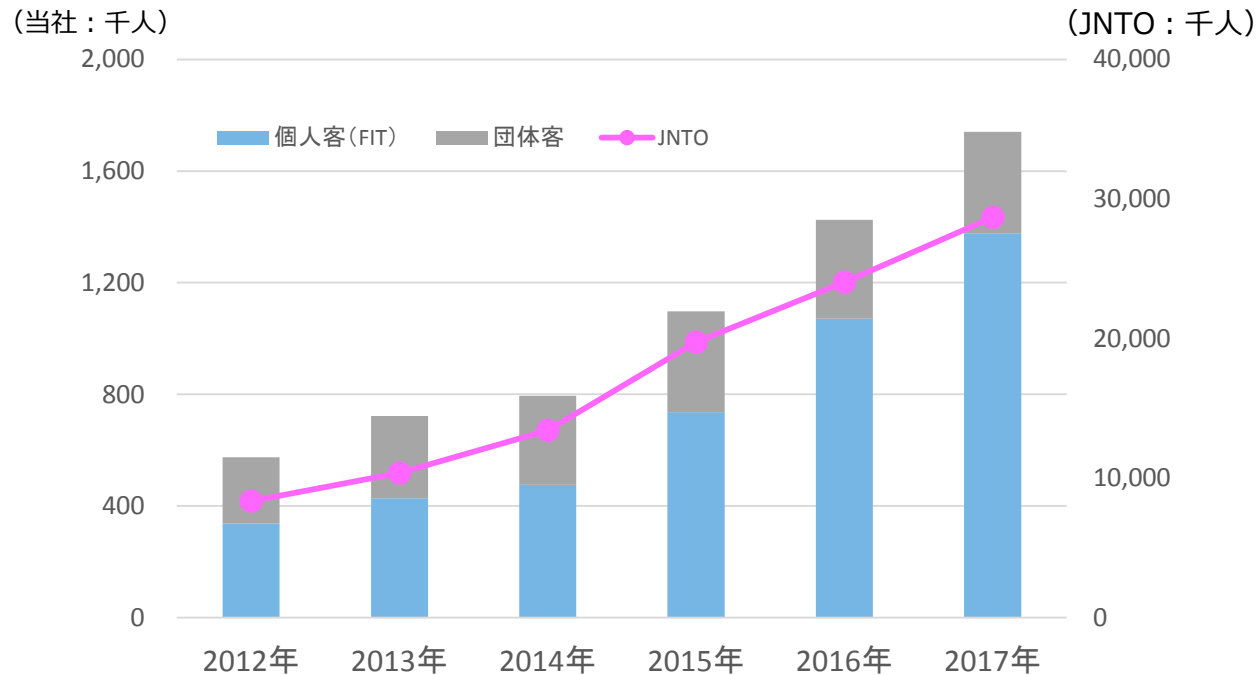
- 婚礼は神殿工事の遅延により人員が減少したが、単価向上で補完
- 5月北九州にて婚礼プロデュース事業を展開
- 大型MICE獲得のため、収容人数が最大の宴会場「オリオン」を改装

前年比	婚礼人員	婚礼人員単価	宴会人員	宴会人員単価
ホテル椿山荘東京	▲9.3%	+5.4%	▲2.1%	+0.6%
太閤園	▲4.0%	+4.7%	▲0.2%	+2.8%

インバウンドの当社状況と施策

個人客（FIT）の誘客を強化

◆当社グループ インバウンド延べ宿泊者推移◆



- 2014年以降、個人客（FIT）の誘客を強化
FITは前年比28.6%の伸長
- 2017年の宿泊延べ人数は174万人、前年比22.5%増加、
インバウンド比率はグループ全体で約41%



- 12月に上海にて、旅行代理店向けの商談会および富裕層向けのイベントを開催
- 富裕層向けのイベントでは、風呂敷、利き酒などの和文化とともに当社グループをPR。雑誌の公式WeChatアカウントにて同時配信、最高184万人が視聴
- ホテル椿山荘東京にて、無料スマートフォンレンタルサービス「handy」を全室に導入。館内外での通話、インターネットデータ通信を提供
- WHG事業グループにて、AIを活用した問合せシステムを導入し24時間多言語の問合せに対応。メンバーズカードのインバウンド会員は約5万人に伸長

【Ⅲ】 中期経営計画の見直しについて

修正後の計画数値

単位：億円	2018/12	前年比	2019/12	2019/12
	予想		当初目標	修正後目標
売上高	720.0	13.7	880.0	760.0
営業利益	23.0	3.0	53.0	27.0
減価償却費等負担前営業利益	80.0	3.2	120.0	90.0
経常利益	23.0	2.5	48.0	27.0
ROA（経常利益 / 総資産）	-	-	4%以上	2.5%以上
ROE（当期純利益 / 純資産）	-	-	10%以上	6%以上
設備投資額(キャッシュベース)	53.2	▲32.6	54	91.0
減価償却費	49.4	1.8	58	55.0

W H G 事業

新ブランドを含む新規出店により事業拡大

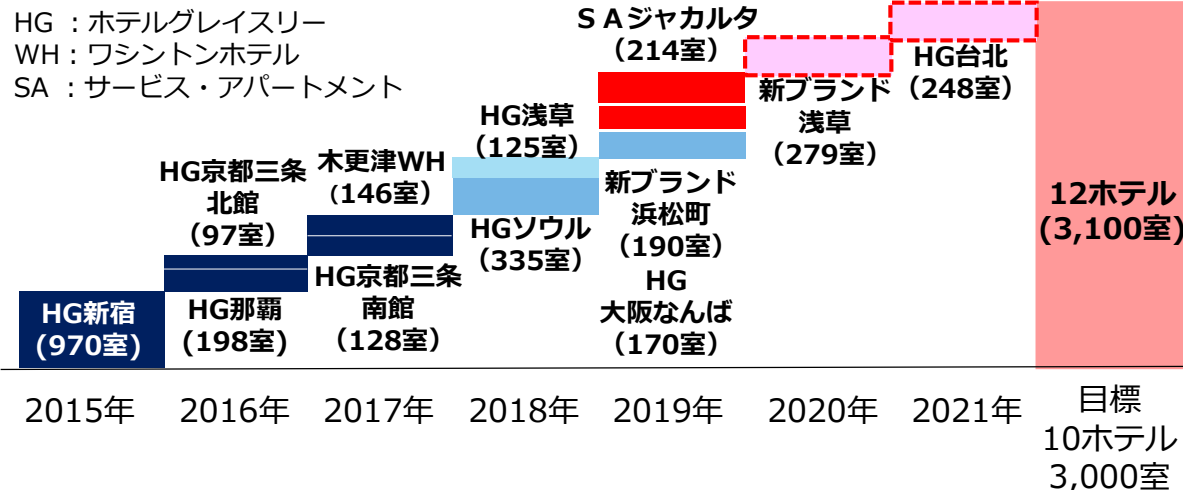
主要施策

- 1、新規出店による事業規模拡大
- 2、新規出店を支える人材確保・育成
- 3、生産性の向上
- 4、顧客の取込強化（リピーター拡大）

単位：億円	2018/12 通期予想	2019/12 通期目標
売上高	369.4	391.0
営業利益	25.3	27.0

◆今後の客室数推移◆

- 3,000室目標に対して2019年時点で2,573室（85%）
2021年には達成
- H G 台北（248室）の開業時期が2019年から2021年に変更



◆マルチブランド化◆

- アクティブに旅を楽しむミレニアル世代が主なターゲット
2019年夏 浜松町計画（190室）
2020年初め 浅草計画（279室）
- サービス・アパートメント事業の開始
2019年秋 インドネシア ジャカルタ（214室）

◆稼働率・客室単価見込み 前年比増減率◆

前年比増減率	首都圏	地方	合計
稼働率	0.5%増	0.7%増	0.6%増
客室単価	1.1%増	3.2%増	1.7%増

リゾート事業

箱根小涌園の収益力強化と再開発を優先

主要施策

- 1、箱根小涌園（天悠・ユネッサン）の収益力強化
- 2、蓬莱園を始めとした箱根小涌園再開発

	2018/12 通期予想	2019/12 通期目標
売上高	63.6	66.0
営業利益	▲3.7	▲3.6

◆箱根小涌園の収益力強化◆

- 【箱根小涌園 天悠】顧客満足度を更に高め、リピーターの獲得を強化

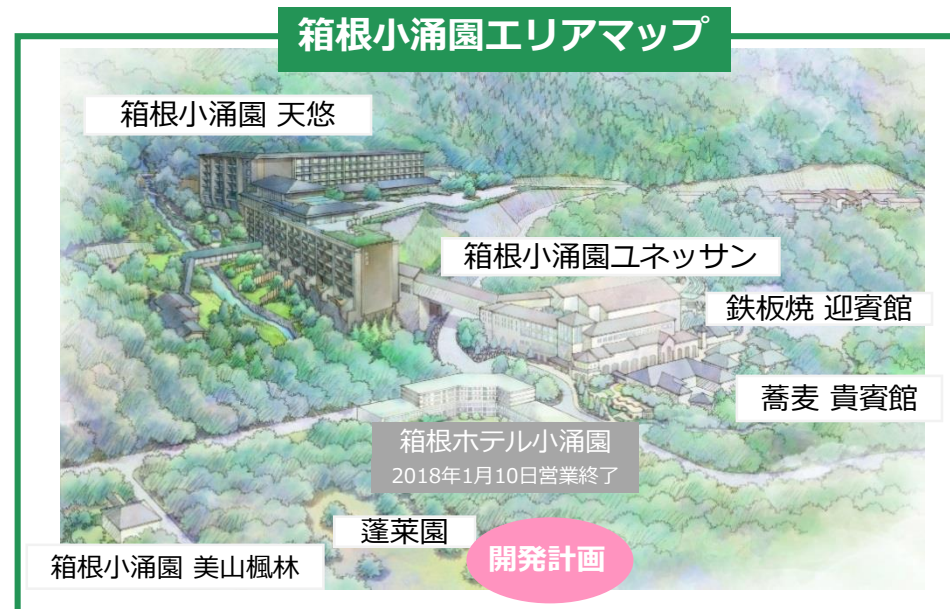
箱根小涌園 天悠	前年比
稼働率	12.6%増
一人あたり宿泊単価	1.2%増

- 【箱根小涌園ユネッサン】飲食や物販、アクティビティの充実で年間を通じて人員の安定化を図る

箱根小涌園ユネッサン	前年比
入場人員	2.0%減
一人あたり入場単価	7.3%増

◆箱根小涌園の再開発◆

- 蓬莱園の基本計画を策定し2020年開業を目指す



ラグジュアリー&バンケット事業

ブランド力の向上と婚礼部門への計画的投資を実施

主要施策

- 1、ホテル椿山荘東京のブランド力、収益力向上
- 2、婚礼事業について、既存事業は減少トレンドを抑制、新規展開はスピードアップ

	2018/12 通期予想	2019/12 通期目標
売上高	258.3	270.0
営業利益	9.2	12.0

◆ホテル椿山荘東京のブランド力向上◆

- 【宿泊】「Preferred Hotels & Resorts」のネットワークを活かし、富裕層の海外個人客（FIT）を誘客

2018年計画	前年比
稼働率	2.3%増
客室単価	0.6%増

- 【宴会】宿泊部門への波及効果が大きい海外大型MICE案件の獲得に取り組む

◆婚礼部門◆

- 婚礼人員の減少トレンドを抑制するため、ホテル椿山荘東京、太閤園においては計画的な投資を実行し、式場等の競争力を向上
- 地方都市にて婚礼プロデュース事業を展開
すでに運営を開始している広島、北九州に加え、2019年までに3拠点の展開を計画

新しい事業への取り組み

ニーズの多様化に対応する新しい宿泊施設

◆グランピング事業◆

第1号店となる「藤乃煌（ふじのきらめき） 富士御殿場」

- 2018年4月27日開業予定
- 独立型キャビン20棟で構成アウトドア空間でホテルのサービスと快適性を提供



◆永平寺門前に宿泊施設を開業◆

福井県永平寺門前にて、旅館と宿坊の中間に位置する施設をコンセプトとした宿泊施設を開業

- 2019年秋開業予定
- 全18室の和洋室を備え、レストランでは永平寺が監修する精進料理を提供



WHG事業のマルチブランド化

◆新ブランド立ち上げ◆

『Active & Relax』をコンセプトに、アクティブに旅を楽しむミレニアル世代が主要ターゲット

- 2019年夏 浜松町計画（190室）
- 2020年初め 浅草計画（279室）
- 充実した旅のサポートや手軽な価格とサービスでリラックスできる空間を提供

◆サービス・アパートメント事業開始◆

インドネシア・ジャカルタ東部の工業団地エリアに出店

- 2019年秋開業予定
- 日系企業の駐在員、出張者を主なターゲットとした長期滞在型宿泊施設
- 客室数は214室を予定、レストランや露天風呂付き大浴場などの付帯施設も充実



セグメント別計画数値

単位：億円		2018/12	2018/12	2018/12	2019/12	2019/12
		上期予想	下期予想	通期予想	当初目標	修正後目標
WHG事業	売上高	174.5	194.9	369.4	376.0	391.0
	営業利益	6.7	18.6	25.3	23.0	27.0
リゾート事業	売上高	28.1	35.5	63.6	106.0	66.0
	営業利益	▲ 6.3	2.6	▲ 3.7	13.0	▲ 3.6
ラグジュアリー& バンケット事業	売上高	125.3	133.0	258.3	340.0	270.0
	営業利益	2.2	7.0	9.2	19.0	12.0
その他 および調整額	売上高	13.1	15.6	28.7	58.0	33.0
	営業利益	▲ 4.6	▲ 3.2	▲ 7.8	▲ 3.0	▲ 8.4
合計	売上高	341.0	379.0	720.0	880.0	760.0
	営業利益	▲ 2.0	25.0	23.0	53.0	27.0

株主還元

配当方針

株主の皆さまへの還元に必要な配慮をするとともに、企業体質の一層の強化と事業展開に活用する内部留保の蓄積も勘案のうえ、業績に応じた配当を行うことを基本方針としております。

配当の状況

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018 (予想)
配当	4円	4円	4円	4円	40円 (※)	40円

※2017年7月1日をもって10株を1株とする株式併合を実施

会社概要

設立年月日	1955年11月7日
資本金	12,081百万円
決算月	12月
上場取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	9722
単元株式	100株
発行済株式数	12,207千株
株主数	20,004名
主な営業種目	ホテル・旅館業・飲食店業他
従業員数	1,421名 (他 期中平均有期雇用者数3,179名)

大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
DOWAホールディングス株式会社	3,814	31.81
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	399	3.32
明治安田生命保険相互会社	300	2.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	240	2.00
日本生命保険相互会社	218	1.82
清水建設株式会社	184	1.53
アサヒビール株式会社	181	1.51
株式会社みずほ銀行	180	1.50
株式会社三菱東京UFJ銀行	180	1.50
ユニゾホールディングス株式会社	168	1.40

※自己株式 219千株

所有株式数は千株未満を切り捨て表示

持株比率の算定は、発行済株式の総数から自己株式219千株を除き、
小数点第3位以下は切り捨てて表示

WHG事業グループ

<<ホテル【客室：12,313室（うち開業予定1,561室）】>>

藤田観光ワシントンホテル旭川
 仙台ワシントンホテル
 浦和ワシントンホテル
 秋葉原ワシントンホテル
 新宿ワシントンホテル 本館
 東京ベイ有明ワシントンホテル
 横浜桜木町ワシントンホテル
 横浜伊勢佐木町ワシントンホテル
 関西エアポートワシントンホテル
 広島ワシントンホテル
 キャナルシティ・福岡ワシントンホテル
 長崎ワシントンホテル

いわきワシントンホテル (MC)
 新宿ワシントンホテル 新館 (MC)
 千葉ワシントンホテル (MC)

青森ワシントンホテル (FC)
 八戸ワシントンホテル (FC)
 山形七日町ワシントンホテル (FC)
 山形駅西口ワシントンホテル (FC)
 会津若松ワシントンホテル (FC)
 郡山ワシントンホテル (FC)
 燕三条ワシントンホテル (FC)
 立川ワシントンホテル (FC)
 宝塚ワシントンホテル (FC)
 佐世保ワシントンホテル (FC)
 木更津ワシントンホテル (FC)

ホテルフジタ福井
 ホテルフジタ奈良

ホテルグレイスリー札幌
 ホテルグレイスリー新宿
 ホテルグレイスリー銀座
 ホテルグレイスリー田町
 ホテルグレイスリー那覇
 ホテルグレイスリー京都三条（北館・南館）

ホテルグレイスリーソウル (2018年夏開業予定)
 ホテルグレイスリー浅草 (2018年秋開業予定)
 ホテルグレイスリー大阪なんば (2019年夏開業予定)
 ホテルグレイスリー台北 (2021年開業予定)

新ブランドホテル浜松町計画 (2019年夏開業予定)
 新ブランドホテル浅草計画 (2020年初め開業予定)

インドネシア・ジャカルタ東部工業団地
 サービス・アパートメント (仮称) (2019年秋開業予定)

新規事業

<<【客室：38室】>>

藤乃煌 富士御殿場 (2018年4月27日開業予定)
 永平寺宿泊施設 (仮称) (2019年秋開業予定)

会員制リゾートホテル

<<ホテル【客室：460室】>>

ウィスタリアンライフクラブヴェルデの森
 ウィスタリアンライフクラブ箱根
 ウィスタリアンライフクラブ熱海
 ウィスタリアンライフクラブ宇佐美
 ウィスタリアンライフクラブ鳥羽
 ウィスタリアンライフクラブ野尻湖
 ウィスタリアンライフクラブプロミネント車山高原

海外現地法人・駐在員事務所

上海 ソウル	台北 バンコク	ジャカルタ ヤンゴン
-----------	------------	---------------

リゾート事業グループ

<<ホテル【客室：361室】>>

箱根小涌園 天悠 (てんゆう)
 箱根小涌園 美山楓林 (みやまふうりん)
 伊東小涌園
 伊東 緑涌 (りよくゆう)
 由布院 緑涌 (りよくゆう)

ホテルやまなみ (MC)
 十和田ホテル (MC)
 湯河原温泉ちとせ (MC)
 グリーンパル湯河原 (MC)

<< レストラン >>

蕎麦 貴賓館
 鉄板焼 迎賓館
 レストランあかしあ亭

<< レジャー >>

箱根小涌園ユネッサン
 箱根小涌園森の湯
 下田海中水族館

ラグジュアリー&バンケット事業グループ

<<ホテル【客室：267室】>>

ホテル椿山荘東京

<< 婚礼 >>

太閤園
 桜苑
 The South Harbor Resort
 ルメルシェ元宇品
 マリーエイド
 マリコレ ウェディングリゾート
 鞘ヶ谷ガーデン アグラス

<< レストラン >>

シビックスカイレ스토랑椿山荘
 割烹日本料理 光琳 (こうりん)

東京大学 伊藤国際学術研究センター内レストラン (MC)
 明治大学 紫紺館 フォレスタ椿山荘 (MC)
 エフエム東京 JET STREAM (MC)
 エフエム東京 CORNET (MC)

<< レジャー >>

カメラアヒルズカントリークラブ

IR担当部門 （お問合せ先）

藤田観光株式会社 企画グループ広報担当

小宮山 ・ 北原 ・ 塩澤

TEL : 03-5981-7703

Mail : h-koho@fujita-kanko.co.jp

注意事項 :

当資料は、藤田観光グループの業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。また、注記を行っている場合を除き、2017年12月31日現在のデータに基づいて作成しております。

尚、当資料に掲載された予測等は作成時点での当社の判断であり、経営環境の変動により今後変更される可能性がありますのでご了承ください。

当資料の転載はご遠慮ください。